



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 シキボウ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3109 URL <http://www.shikibo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清原 幹夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 竹田 広明 (TEL) 06-6268-5411
 コーポレート部門長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,958	△5.2	943	△13.6	732	△23.0	525	△23.2
2019年3月期第2四半期	19,991	△0.3	1,091	△22.7	951	△22.7	684	△11.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 411百万円(△39.8%) 2019年3月期第2四半期 683百万円(△15.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	48.73	—
2019年3月期第2四半期	63.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	85,012	32,420	36.6
2019年3月期	84,949	32,460	36.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 31,083百万円 2019年3月期 31,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,300	△1.2	2,300	△4.4	1,900	△10.1	1,300	—	120.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	11,810,829株	2019年3月期	11,810,829株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,024,070株	2019年3月期	1,027,097株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	10,784,964株	2019年3月期2Q	10,794,193株

(注) 当社は株式報酬制度（役員向け株式給付信託）を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年11月28日（木）に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後、速やかにホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善により緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦の激化、英国のEU離脱問題等により世界経済の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループは持続的成長に向けたチャレンジの最終ステージとして、昨年度、中期経営計画「Challenge to the Growth final stage 2018-2020」をスタートいたしました。繊維セグメントでは「自らの得意とする市場に対し独自技術で独自の素材の供給」と「企業間取引(B to B)の強化」、産業材セグメントの産業資材部門では「国内基盤の維持・強化と海外販売の促進・拡大」、機能材料部門では「新中核事業に位置付ける化成品事業、複合材料事業のさらなる業容拡張と収益拡大」を事業戦略に掲げ、取り組みを推進しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は189億58百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は9億43百万円(同13.6%減)、経常利益は7億32百万円(同23.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億25百万円(同23.2%減)となりました。

(繊維セグメント)

原糸販売事業は、国内市場においては中高級衣料品の需要低迷の継続により苦戦いたしましたが、一方で、海外市場においてはベトナム、インドネシア生産糸の販売拡大が進んでおります。

輸出衣料事業は、中東民族衣装用地輸出が現地の流通在庫の減少に伴う市況回復により、堅調に推移いたしました。

ユニフォーム事業は、備蓄アパレル向けユニフォーム生地販売が一部取引先の在庫過多の影響で苦戦し、スポーツを中心としたニット製品販売も取引先の販売不振や調達先集約により苦戦いたしました。また、利益面でも原燃料価格や物流費の上昇が利益を圧迫いたしました。

生活資材事業は、リビング分野は一部で消費税増税前の駆け込み需要もありましたが全般的に前年並みで、リネン資材分野は順調に推移いたしました。

以上の結果、繊維セグメント全体としての売上高は101億60百万円(前年同期比8.5%減)となり、営業利益は1億40百万円の営業損失(前年同期は1億11百万円の営業損失)となりました。

(産業材セグメント)

産業資材部門では、製紙用ドライヤーカンバス事業は、主要顧客である国内製紙会社の生産量減少により、カンバス需要が低調に推移し減収となりました。フィルター事業は、海外需要が低調でありましたが、国内の官需がカバーしたことから、売上高は前期並みとなりました。また、空気清浄機分野では大口案件が少なく減収となりました。

機能材料部門では、化成品事業は化学品分野の中国向け輸出が市況悪化の影響を受けて需要減少となりましたが、食品分野の増粘多糖類等が堅調に推移した結果、全体では若干の増収となりました。複合材料事業は、電力分野向け複合材料部材が低調となり、航空機用途も受託量が当初の計画どおりに至らなかったことから減収となりました。

以上の結果、産業材セグメント全体としての売上高は59億54百万円(前年同期比2.7%減)となり、営業利益は3億36百万円(同27.4%減)となりました。

(不動産・サービスセグメント)

不動産賃貸事業は順調に推移いたしましたが、修繕費の増加が利益を圧迫いたしました。サービス事業の物流分野は新規取引先の獲得により、リネンサプライ事業は取引先ホテルの稼働率上昇により、堅調に推移いたしました。

以上の結果、不動産・サービスセグメント全体としての売上高は31億62百万円(前年同期比3.1%増)となり、営業利益は10億36百万円(同0.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は850億12百万円となり、前年度末に比べ62百万円の増加となりました。これは主に、売上債権が減少したものの、現金及び預金、有形固定資産の増加によるものであります。

負債は、525億92百万円となり、前年度末に比べ1億3百万円の増加となりました。これは主に、仕入債務が減少したものの、有利子負債の増加によるものであります。

純資産は、324億20百万円となり、前年度末に比べ40百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が増加したものの、為替変動に伴う為替換算調整勘定の減少によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前年度末と同様、36.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月25日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更しておりません。

(ご参考) セグメントごとの連結業績予想は以下のとおりであります。

(2020年3月期)

(単位：百万円)

	報告セグメント			消去及び全社	合計
	繊維	産業材	不動産・サービス		
売上高	22,300	12,500	6,150	△650	40,300
営業利益	50	850	2,000	△600	2,300
経常利益					1,900
親会社株主に 帰属する 当期純利益					1,300

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,713	5,307
受取手形及び売掛金	10,910	9,044
有価証券	150	420
商品及び製品	5,358	5,568
仕掛品	1,415	1,609
原材料及び貯蔵品	999	1,072
その他	833	846
貸倒引当金	△50	△37
流動資産合計	24,331	23,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,919	42,523
減価償却累計額及び減損損失累計額	△30,724	△31,065
建物及び構築物(純額)	11,195	11,458
機械装置及び運搬具	27,157	26,681
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,147	△24,719
機械装置及び運搬具(純額)	2,010	1,961
工具、器具及び備品	1,574	1,566
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,464	△1,455
工具、器具及び備品(純額)	109	110
土地	40,853	40,757
リース資産	2,210	2,251
減価償却累計額	△940	△1,052
リース資産(純額)	1,270	1,199
建設仮勘定	1,381	2,048
有形固定資産合計	56,821	57,536
無形固定資産	208	244
投資その他の資産		
投資有価証券	1,247	1,180
繰延税金資産	1,931	1,816
その他	465	473
貸倒引当金	△56	△71
投資その他の資産合計	3,588	3,399
固定資産合計	60,618	61,180
資産合計	84,949	85,012

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,051	4,004
短期借入金	9,601	9,517
1年内償還予定の社債	2,130	1,340
未払費用	655	551
未払法人税等	401	146
未払消費税等	218	65
賞与引当金	596	613
関係会社整理損失引当金	164	101
その他	1,357	1,640
流動負債合計	20,175	17,980
固定負債		
社債	2,360	3,860
長期借入金	10,925	12,247
リース債務	1,104	1,023
繰延税金負債	179	175
再評価に係る繰延税金負債	6,452	6,452
退職給付に係る負債	6,412	6,245
役員退職慰労引当金	67	61
修繕引当金	233	23
長期預り敷金保証金	4,149	4,154
長期前受収益	29	7
その他	400	360
固定負債合計	32,313	34,612
負債合計	52,488	52,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,336	11,336
資本剰余金	977	978
利益剰余金	7,946	8,037
自己株式	△1,240	△1,237
株主資本合計	19,020	19,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137	81
繰延ヘッジ損益	△19	△12
土地再評価差額金	13,681	13,681
為替換算調整勘定	△1,355	△1,451
退職給付に係る調整累計額	△362	△329
その他の包括利益累計額合計	12,081	11,968
非支配株主持分	1,359	1,337
純資産合計	32,460	32,420
負債純資産合計	84,949	85,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	19,991	18,958
売上原価	16,005	15,160
売上総利益	3,985	3,798
販売費及び一般管理費	2,893	2,855
営業利益	1,091	943
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	11	12
持分法による投資利益	17	—
為替差益	37	—
雑収入	28	56
営業外収益合計	97	71
営業外費用		
支払利息	126	116
雑支出	110	165
営業外費用合計	237	282
経常利益	951	732
特別利益		
受取保険金	—	38
固定資産売却益	5	7
年金資産消失損引当金戻入額	103	—
特別利益合計	108	46
特別損失		
災害損失	—	29
関係会社整理損失引当金繰入額	—	13
固定資産売却損	0	11
固定資産除却損	24	9
その他	7	—
特別損失合計	31	63
税金等調整前四半期純利益	1,027	714
法人税、住民税及び事業税	351	117
法人税等調整額	△26	76
法人税等合計	324	194
四半期純利益	703	520
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	19	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	684	525

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	703	520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△56
繰延ヘッジ損益	36	7
為替換算調整勘定	△109	△98
退職給付に係る調整額	49	33
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	4
その他の包括利益合計	△20	△109
四半期包括利益	683	411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	669	412
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,027	714
減価償却費	812	799
長期前払費用償却額	21	15
のれん償却額	16	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	110	△107
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	△5
修繕引当金の増減額(△は減少)	5	△209
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	11	17
受取利息及び受取配当金	△13	△14
支払利息	126	116
為替差損益(△は益)	△22	9
持分法による投資損益(△は益)	△17	—
固定資産処分損益(△は益)	24	9
固定資産売却損益(△は益)	△4	4
売上債権の増減額(△は増加)	1,002	1,855
たな卸資産の増減額(△は増加)	15	△495
仕入債務の増減額(△は減少)	△148	△435
その他	△325	△366
小計	2,648	1,910
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△124	△114
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△300	△355
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,227	1,444
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△808	△1,916
有形固定資産の売却による収入	18	122
有価証券の取得による支出	△250	△250
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
定期預金の払戻による収入	33	50
定期預金の預入による支出	△43	△47
その他	△40	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,093	△2,097

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△318	39
長期借入れによる収入	1,700	3,502
長期借入金の返済による支出	△2,217	△2,306
社債の発行による収入	1,900	2,254
社債の償還による支出	△620	△1,590
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△428	△431
非支配株主への配当金の支払額	△20	△20
その他	△118	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123	1,322
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△51
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	993	617
現金及び現金同等物の期首残高	4,503	4,642
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,497	5,260

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,103	6,119	2,768	19,991	—	19,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	299	300	△300	—
計	11,105	6,119	3,067	20,291	△300	19,991
セグメント利益又は損失(△)	△111	463	1,034	1,386	△294	1,091

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△294百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,152	5,954	2,852	18,958	—	18,958
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	309	317	△317	—
計	10,160	5,954	3,162	19,276	△317	18,958
セグメント利益又は損失(△)	△140	336	1,036	1,233	△289	943

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△289百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。